学校だより
愛　汗
やる気・根気・感謝・勤労・基本的な生活習慣
２０１０(平成22)年　4月19日　第5号
渡嘉敷村立渡嘉敷幼小中学校　亀川盛敏

朝は学校中が読書＆読書 8:05～25

1･2年

3･4年

5･6年

中1年

中2年

中3年

ハーリー、浜下り

学校職員のメンバー

中学生のメンバー

ハーリー及び浜下り

４月17日（土）、午前９時３０分、小嶺安雄村長の開会あいさつのあと、これまでの練習の成果を生かして中学生チーム、先生方チーム、交流の家チーム、役場チームがまずスタートした。練習では、先生方チームが中学生より速く、しかも真っ直ぐ進んでいました。しかし本番では、蛇行気味で最下位。けれども、子どもたちの声援を受けたのは先生方チームでした。予想に反して、中学生チームがもう少しで役場チームをゴール近くで抜かすのではないかという場面がありました。「中学生はすごかったさ。女の子が入ったチームでよくがんばっていたね。」と、周りから聞こえてきました。中学生チームは、大健闘でした。結局、一着は役場チームでしたが、どのチームもさいごまでよくがんばったと思います。

〇児童生徒は、どんな本を読んでいるのでしょう。本当に読書の楽しさにふれているのでしょうか。私自身は、最近東野圭吾の小説『新参者』『カッコウノ卵は誰のもの』等を読んでいる。世のブームになっている『蟹工船』も読んでみた。ベストセラーになっている五木寛之『親鸞』など、面白い。村上春樹の『1Q84　BOOK3』など早く読んでみたい！
〇玉城由紀子図書館担当が来て、毎週火曜日に読み聞かせをしてよいか聞いてきた。私も、休憩時間なのだが一緒に読み聞かせをやりたいと考えている。子ども達には、いい本にたくさん出会って欲しい。保護者による読み聞かせも今年は実現したい。
〇子ども同士や保護者、先生方から、いろいろな本が紹介されたらいいなと思う。そのことにより、いろいなろ考えにであったり広い世界を旅したり多くの人を知ったりすることができるから。きっと読書を通して心の中に多くの人を住まわせることができるだろう。それが、これから生きる子ども達をいろんな面で支えることにつながると思う。さらに、読書を通して感受性や言葉を豊かにしたいと願っている。

海開き

四月十八日小嶺村長の海開き宣言の後、子ども達が昆布のゴールをめがけて海へ突進！宝探しや空手の演舞で本校の子ども達も活躍。空手の演舞で小三の笙君や小四の銀次君が上級生にまじってかっこよく演舞していました。先生方もコーラ早飲み競争に参加しました。

うさぎの赤ちゃんがうまれたよ！来て、来て‥

「園長先生、うさぎの赤ちゃんがうまれたよ。」幼稚園の園児達がかん高い声で呼びに来た。両手で饅頭をつくる動作をして、「このぐらいの可愛い子うさぎだよ。」「早く、見て見て・・」と来る。急がされてうさぎ小屋に何度か通って、やっと出会えた子うさぎです。みんなもかわいがってあげてね。